

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

運用報告書(全体版) 第26期

(決算日 2020年12月16日)

(作成対象期間 2020年6月17日～2020年12月16日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドの株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
22期末(2018年12月17日)	7,256	0	△ 7.3	9,612	△ 2.8	95.8	2.5	30,947
23期末(2019年6月17日)	7,734	0	6.6	10,210	6.2	94.0	3.0	26,997
24期末(2019年12月16日)	8,063	0	4.3	10,333	1.2	94.9	3.4	24,676
25期末(2020年6月16日)	5,830	0	△ 27.7	8,035	△ 22.2	93.5	4.4	15,219
26期末(2020年12月16日)	7,907	30	36.1	10,907	35.8	93.4	4.9	18,259

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIインド指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

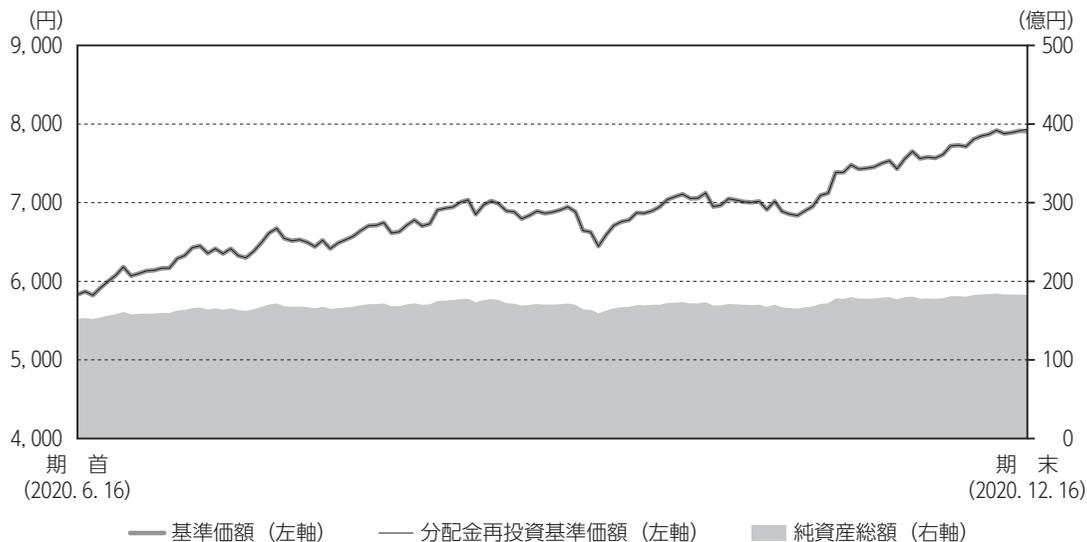
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：5,830円

期末：7,907円（分配金30円）

騰落率：36.1%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じてインド株式に投資した結果、インド・ルピーは対円でおおむね横ばいでの推移となったものの、インド国内における段階的な経済活動の再開や新型コロナウイルスの感染拡大ペースの鈍化、新型コロナウイルスに対するワクチンの開発進展などを好感して保有株式が上昇したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I インド指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首) 2020年 6 月 16 日	5,830	—	8,035	—	93.5	4.4
6 月 末	6,140	5.3	8,455	5.2	94.1	4.4
7 月 末	6,440	10.5	9,055	12.7	92.8	4.4
8 月 末	7,035	20.7	9,738	21.2	94.2	4.4
9 月 末	6,758	15.9	9,560	19.0	93.5	4.5
10 月 末	6,854	17.6	9,549	18.9	92.1	4.6
11 月 末	7,568	29.8	10,277	27.9	92.7	4.8
(期末) 2020年 12 月 16 日	7,937	36.1	10,907	35.8	93.4	4.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 6. 17 ~ 2020. 12. 16)

■インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

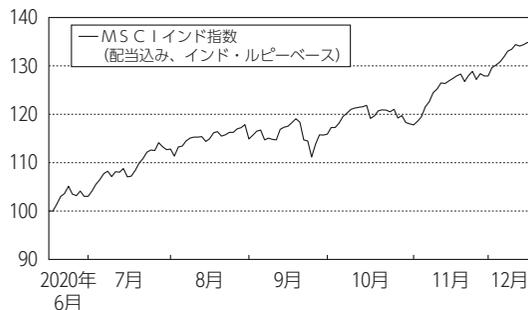
インド株式市況は、当作成期首より2020年8月にかけて、インドにおける経済活動の段階的な再開、農業生産の良好な見通しを背景とした農村部の消費拡大期待、政府による経済対策への期待を支援材料に上昇しました。9月には中印間の緊張の高まりや欧州における新型コロナウイルスの感染再拡大などを受けて一時下落する局面があったものの、その後はインドにおける感染拡大ペースの鈍化などを受けて反発しました。11月から当作成期末にかけては、新型コロナウイルスに対するワクチンの早期実用化期待を受けたインド経済や企業業績回復への楽観的な見方、また米国政治の不透明感後退などを背景に上昇しました。

■為替相場

インド・ルピーは、円に対しておおむね横ばい圏で推移しました。

インド・ルピーは対円で、当作成期首から2020年8月にかけて横ばい圏で推移しましたが、9月以降は欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大や経済活動の再制限の動きを背景とした投資家のリスク回避姿勢の強まりから、下落傾向となりました。

株価指数の推移



(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

為替相場の推移



(為替レートは対円で、当作成期首を100として指数化しています。)

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、強い財務体質を持ち、株価バリュエーション面で投資妙味がある銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、経済活動の再開後に、業績の速やかな回復が期待される銘柄を中心に一般消費財・サービスセクターにも注目しています。

ポートフォリオについて

(2020. 6. 17 ~ 2020. 12. 16)

■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インフラ（社会基盤）投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、中長期的に貸出残高や手数料収入の増加などを通じた業績拡大が見込まれた銀行を中心に金融セクター、物価の安定や所得水準の向上などを背景とした個人消費拡大の恩恵が期待された一般消費財・サービスセクターなどを組入上位としました。

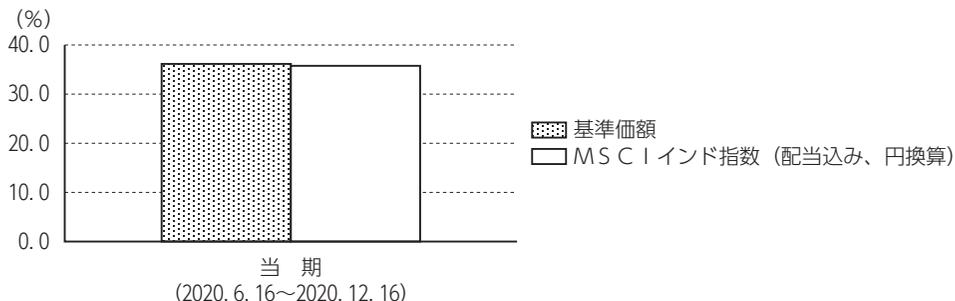
個別銘柄では、個人向けローンの拡大に注力する民間銀行大手の HDFC BANK LIMITED（金融）や、デジタル分野が成長をけん引する大手財閥の RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A（エネルギー）などを組入上位としました。

また、非中核事業の売却により、資本配分の効率化が期待された自動車大手の MAHINDRA & MAHINDRA LTD（一般消費財・サービス）や、設備投資需要が高まるとの見方からエンジニアリング大手の ABB INDIA LTD（資本財・サービス）などを買い付けました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当り)

項目	当 期	
	2020年6月17日 ~2020年12月16日	
当期分配金 (税込み) (円)		30
対基準価額比率 (%)		0.38
当期の収益 (円)		30
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		1,102

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 34.78円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	500.70
(d) 分配準備積立金	596.52
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,132.01
(f) 分配金	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,102.01

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、株価バリュエーション面で投資妙味があり、堅固な財務体質を持つ銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、経済活動の再開に伴い業績の回復が期待される銘柄を中心に一般消費財・サービスセクターにも注目しています。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 6. 17~2020. 12. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	64円	0.926%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,878円です。
(投 信 会 社)	(30)	(0.441)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0.441)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	10	0.144	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(10)	(0.139)	
(先物・オプション)	(0)	(0.005)	
有 価 証 券 取 引 税	4	0.059	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(4)	(0.059)	
そ の 他 費 用	4	0.060	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.037)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.021)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	82	1.189	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

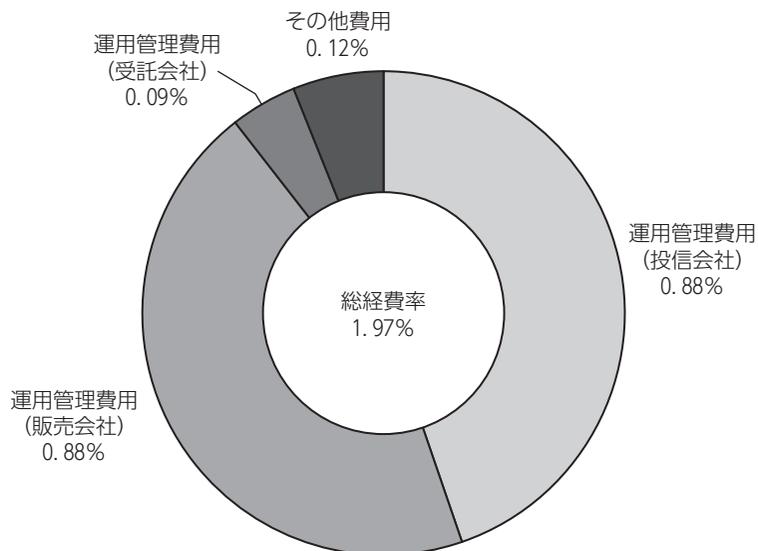
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年6月17日から2020年12月16日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	69,282	57,000	2,742,805	2,406,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年6月17日から2020年12月16日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	7,317,800千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	15,742,977千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.46

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	21,006,537	18,333,013	18,226,682

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	18,226,682	97.9
コール・ローン等、その他	386,793	2.1
投資信託財産総額	18,613,476	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝103.73円、1インド・ルピー＝1.42円です。

(注3) ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(18,137,963千円)の投資信託財産総額(18,354,028千円)に対する比率は、98.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	18,613,476,149円
コール・ローン等	259,793,861
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド(評価額)	18,226,682,288
未収入金	127,000,000
(B) 負債	353,927,059
未払収益分配金	69,277,970
未払解約金	126,546,615
未払信託報酬	157,633,417
その他未払費用	469,057
(C) 純資産総額(A-B)	18,259,549,090
元本	23,092,656,976
次期繰越損益金	△ 4,833,107,886
(D) 受益権総口数	23,092,656,976口
1万口当り基準価額(C/D)	7,907円

* 期首における元本額は26,105,137,063円、当作成期間中における追加設定元本額は664,496,487円、同解約元本額は3,676,976,574円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は7,907円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,833,107,886円です。

■損益の状況

当期 自 2020年 6月17日 至 2020年12月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 19,192円
受取利息	1,651
支払利息	△ 20,843
(B) 有価証券売買損益	4,966,933,107
売買益	5,376,530,058
売買損	△ 409,596,951
(C) 信託報酬等	△ 158,102,985
(D) 当期損益金 (A + B + C)	4,808,810,930
(E) 前期繰越損益金	△ 3,885,812,624
(F) 追加信託差損益金	△ 5,686,828,222
(配当等相当額)	(1,156,271,604)
(売買損益相当額)	(△ 6,843,099,826)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 4,763,829,916
(H) 収益分配金	△ 69,277,970
次期繰越損益金 (G + H)	△ 4,833,107,886
追加信託差損益金	△ 5,686,828,222
(配当等相当額)	(1,156,271,604)
(売買損益相当額)	(△ 6,843,099,826)
分配準備積立金	1,388,583,294
繰越損益金	△ 534,862,958

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 42,493,018円 (未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	80,329,588円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,156,271,604
(d) 分配準備積立金	1,377,531,676
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,614,132,868
(f) 分配金	69,277,970
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,544,854,898
(h) 受益権総口数	23,092,656,976口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	30円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

運用報告書 第26期 (決算日 2020年12月16日)

(作成対象期間 2020年6月17日～2020年12月16日)

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。）
株式組入制限	無制限

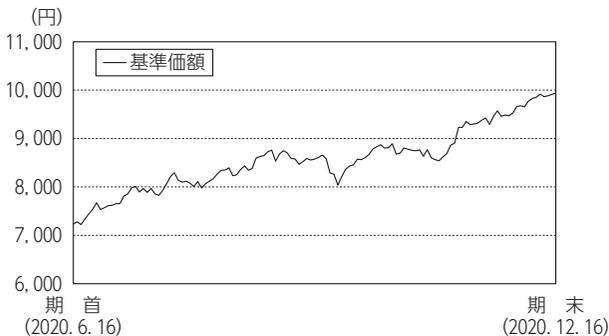
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株式 組入 比率	株式 先比 率
	円	騰落率 (%)	騰落率 (参考指数)	騰落率 (%)		
(期首) 2020年6月16日	7,231	—	8,041	—	93.7	4.4
6月末	7,622	5.4	8,461	5.2	94.2	4.4
7月末	8,007	10.7	9,062	12.7	93.0	4.4
8月末	8,762	21.2	9,745	21.2	94.4	4.4
9月末	8,429	16.6	9,567	19.0	93.6	4.5
10月末	8,563	18.4	9,556	18.9	92.3	4.6
11月末	9,471	31.0	10,285	27.9	92.9	4.8
(期末) 2020年12月16日	9,942	37.5	10,915	35.8	93.5	4.9

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) MSCIインド指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：7,231円 期末：9,942円 騰落率：37.5%

【基準価額の主な変動要因】

インド株式に投資した結果、インド・ルピーは対円でおおむね横ばいでの推移となったものの、インド国内における段階的な経済活動の再開や新型コロナウイルスの感染拡大ペースの鈍化、新型コロナウイルスに対するワクチンの開発進展などを好感して保有株式が上昇したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首より2020年8月にかけて、インドにおける経済活動の段階的な再開、農業生産の良好な見通しを背景とした農村部の消費拡大期待、政府による経済対策への期待を支援材料に上昇しました。9月には中印間の緊張の高まりや欧州における新型コロナウイルスの感染再拡大などを受けて一時下落する局面があったものの、その後はインドにおける感染拡大ペースの鈍化などを受けて反発しました。11月から当作成期末にかけては、新型コロナウイルスに対するワクチンの早期実用化期待を受けたインド経済や企業業績回復への楽観的な見方、また米国政治の不透明感後退などを背景に上昇しました。

○為替相場

インド・ルピーは、円に対しておおむね横ばい圏で推移しました。

インド・ルピーは対円で、当作成期首から2020年8月にかけて横ばい圏で推移しましたが、9月以降は欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大や経済活動の再制限の動きを背景とした投資家のリスク回避姿勢の強まりから、下落傾向となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主に、インド経済の発展に必要なインフラ(社会基盤)投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、強い財務体質を持ち、株価バリュエーション面で投資妙味がある銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、経済活動の再開後、業績の速やかな回復が期待される銘柄を中心に一般消費財・サービスセクターにも注目しています。

◆ポートフォリオについて

主に、インフラ(社会基盤)投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、中長期的に貸出残高や手数料収入の増加などを通じた業績拡大が見込まれた銀行を中心に金融セクター、物価の安定や所得水準の向上などを背景とした個人消費拡大の恩恵が期待された一般消費財・サービスセクターなどを組入上位としました。

個別銘柄では、個人向けローンの拡大に注力する民間銀行大手のHDFC BANK LIMITED(金融)や、デジタル分野が成長をけん引する大手財閥のRELIANCE INDS-SPONS GDR 144A(エネルギー)などを組入上位としました。

また、非中核事業の売却により、資本配分の効率化が期待された自動車大手のMAHINDRA & MAHINDRA LTD(一般消費財・サービス)や、設備投資需要が高まるとの見方からエンジニアリング大手のABB INDIA LTD(資本財・サービス)などを買い付けました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドには運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

主に、インド経済の発展に必要なインフラ(社会基盤)投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、株価バリュエーション面で投資妙味があり、堅固な財務体質を持つ銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、経済活動の再開に伴い業績の回復が期待される銘柄を中心に一般消費財・サービスセクターにも注目しています。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	12円 (12) (0)
有価証券取引税 (株式)	5 (5)
その他費用 (保管費用) (その他)	5 (3) (2)
合 計	22

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2020年6月17日から2020年12月16日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 2,314 (一)	千アメリカ・ドル 2,738 (一)	百株 2,428	千アメリカ・ドル 3,929
	インド	百株 42,762.35 (4,068)	千インド・ルピー 1,563,002 (18,990)	百株 23,327.46	千インド・ルピー 3,081,212

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2020年6月17日から2020年12月16日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	百万円	百万円	百万円	百万円
株式先物取引	4,564	4,558	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

株 式

(2020年6月17日から2020年12月16日まで)

銘 柄	当 期			期 付			
	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	千株 185.3	千円 214,930	円 1,159	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE (インド)	千株 199.7	千円 505,691	円 2,532
ITC LTD (インド)	636.6	170,503	267	SHREE CEMENT LTD (インド)	12,042	348,176	28,913
MUTHOOT FINANCE LTD (インド)	100.8	164,996	1,636	HDFC BANK LIMITED (インド)	186.9	325,514	1,741
MAHINDRA & MAHINDRA LTD (インド)	188.2	158,954	844	DEEPAK NITRITE LTD (インド)	280.8	313,845	1,117
CAN FIN HOMES LTD (インド)	255.714	158,513	619	LARSEN & TOUBRO LTD (インド)	214.9	283,217	1,317
ABB INDIA LTD (インド)	101.972	136,861	1,342	AIA ENGINEERING LTD (インド)	105.5	252,833	2,396
STATE BANK OF INDIA (インド)	370	128,257	346	DABUR INDIA LTD (インド)	331.5	241,429	728
LARSEN & TOUBRO LTD (インド)	62.3	98,498	1,581	BRITANNIA INDUSTRIES LTD (インド)	48.4	237,944	4,916
VARUN BEVERAGES LTD (インド)	93.257	92,704	994	ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	211.4	217,889	1,030
AMBUJA CEMENTS LTD (インド)	335.3	92,305	275	HCL TECHNOLOGIES LTD (インド)	209.8	214,368	1,021

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
(アメリカ)						
ICICI BANK LTD-SPON ADR	8,768	8,507	12,190	1,264,523	金融	
INFOSYS LTD-SP ADR	5,646	6,107	9,533	988,860	情報技術	
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A	2,519.06	2,205.06	12,017	1,246,583	エネルギー	
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	16,933.06 3銘柄	16,819.06 3銘柄	33,741	3,499,967 <19.2%>	
	百株	百株	千インド・ルピー	千円		
(インド)						
ESCORTS LTD	644	644	85,983	122,096	資本財・サービス	
ICICI PRUDENTIAL LIFE INSURA	1,321	1,321	63,427	90,067	金融	
ALKEM LABORATORIES LTD	—	199	57,680	81,905	ヘルスケア	
BALKRISHNA INDUSTRIES LTD	592	—	—	—	一般消費財・サービス	
CAN FIN HOMES LTD	—	2,557.14	124,136	176,273	金融	
CROMPTON GREAVES CONSUMER EL	3,915.53	5,737.53	194,731	276,519	一般消費財・サービス	
ENDURANCE TECHNOLOGIES LTD	654.48	—	—	—	一般消費財・サービス	
AVENUE SUPERMARTS LTD	559.94	—	—	—	生活必需品	
ICICI LOMBARD GENERAL INSURA	—	427	62,158	88,264	金融	
HDFC LIFE INSURANCE CO LTD	1,077	1,077	70,161	99,628	金融	
WHIRLPOOL OF INDIA LTD	—	277	59,815	84,937	一般消費財・サービス	
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	467.62	—	—	—	金融	
VARUN BEVERAGES LTD	853	1,785.57	164,174	233,127	生活必需品	
DEEPAK NITRITE LTD	4,340.07	1,532.07	134,983	191,675	素材	
TRENT LTD	1,241.82	2,132.82	151,312	214,864	一般消費財・サービス	
TATA STEEL LTD	1,230	1,230	78,148	110,970	素材	
AXIS BANK LTD	8,529	7,596	461,153	654,837	金融	
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	796.5	796.5	618,502	878,273	一般消費財・サービス	
ASHOK LEYLAND LTD	—	11,353	107,796	153,071	資本財・サービス	
ASIAN PAINTS LTD	666	666	168,328	239,026	素材	
NESTLE INDIA LTD	32	—	—	—	生活必需品	
HINDUSTAN UNILEVER LTD	2,133.22	2,133.22	494,917	702,783	生活必需品	
STATE BANK OF INDIA	6,440	10,140	274,439	389,703	金融	
TITAN CO LTD	607	607	89,153	126,597	一般消費財・サービス	
BAJAJ AUTO LTD	236	—	—	—	一般消費財・サービス	
BHARAT PETROLEUM CORP LTD	1,636	1,636	65,210	92,599	エネルギー	
ULTRATECH CEMENT LTD	748	640	330,038	468,654	素材	
KOTAK MAHINDRA BANK LTD	3,305	2,790	544,370	773,006	金融	
ADITYA BIRLA FASHION AND RET	—	4,437.29	71,085	100,941	一般消費財・サービス	
BRITANNIA INDUSTRIES LTD	484	—	—	—	生活必需品	
DIVI'S LABORATORIES LTD	1,062.2	1,062.2	385,408	547,280	ヘルスケア	
SHREE CEMENT LTD	120.42	—	—	—	素材	
TECH MAHINDRA LTD	2,201	2,201	204,043	289,742	情報技術	
TORRENT POWER LTD	1,675	1,675	56,179	79,774	公益事業	
AIA ENGINEERING LTD	1,055	—	—	—	資本財・サービス	
TVS MOTOR CO LTD	1,555	1,555	75,262	106,872	一般消費財・サービス	

銘柄	株数	当		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千インド・ルピー	千円		
BATA INDIA LTD	927	927	148,936	211,489	一般消費財・サービス	
JUBILANT FOODWORKS LTD	333	—	—	—	一般消費財・サービス	
IPCA LABORATORIES LTD	—	227.63	51,047	72,486	ヘルスケア	
EICHER MOTORS LTD	36	—	—	—	一般消費財・サービス	
BAJAJ FINANCE LTD	570	570	291,982	414,615	金融	
MAHINDRA & MAHINDRA FIN SECS	3,798	7,596	134,753	191,349	金融	
HINDALCO INDUSTRIES LTD	12,052	12,052	294,731	418,518	素材	
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	536	536	148,019	210,187	情報技術	
LARSEN & TOUBRO LTD	4,677.5	3,151.5	392,755	557,713	資本財・サービス	
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	3,084	1,087	255,483	362,785	金融	
HDFC BANK LIMITED	9,826.8	7,957.8	1,107,168	1,572,179	金融	
ITC LTD	—	6,366	135,945	193,043	生活必需品	
MAHINDRA & MAHINDRA LTD	—	1,882	135,118	191,867	一般消費財・サービス	
BHARTI AIRTEL LTD	8,664.56	8,664.56	436,867	620,351	コミュニケーション・サービス	
ABB INDIA LTD	—	1,019.72	117,711	167,150	資本財・サービス	
AMBUJA CEMENTS LTD	7,021	10,374	256,860	364,741	素材	
DABUR INDIA LTD	3,315	—	—	—	生活必需品	
HCL TECHNOLOGIES LTD	5,293	3,195	283,077	401,969	情報技術	
INDIAN HOTELS CO LTD	12,263.68	12,263.68	158,324	224,820	一般消費財・サービス	
インド・ルピー通貨計	株数、金額	122,575.34	146,078.23	9,541,383	13,548,765	
	銘柄数 < 比率 >	45 銘柄	43 銘柄		<74.3% >	
ファンド合計	株数、金額	139,508.4	162,897.29	—	17,048,732	
	銘柄数 < 比率 >	48 銘柄	46 銘柄		<93.5% >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当		期	末
	買建額	売建額		
外国	百万円	百万円		
SGX NIFTY 50 (シンガポール)	887	—		

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月16日現在

項目	当		期	末
	評価額	比率		
株式	千円	%		
	17,048,732	92.9		
コール・ローン等、その他	1,305,295	7.1		
投資信託財産総額	18,354,028	100.0		

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=103.73円、1インド・ルピー=1.42円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (18,137,963千円) の投資信託財産総額 (18,354,028千円) に対する比率は、98.8%です。

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	18,354,028,424円
コール・ローン等	767,586,418
株式（評価額）	17,048,732,976
未収入金	38,654,466
差入委託証拠金	499,054,564
(B) 負債	127,000,000
未払解約金	127,000,000
(C) 純資産総額（A－B）	18,227,028,424
元本	18,333,013,768
次期繰越損益金	△ 105,985,344
(D) 受益権総口数	18,333,013,768口
1万口当り基準価額（C／D）	9,942円

* 期首における元本額は21,006,537,043円、当作成期間中における追加設定元本額は69,282,674円、同解約元本額は2,742,805,949円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド18,333,013,768円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,942円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は105,985,344円です。

■損益の状況

当期 自 2020年6月17日 至 2020年12月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	88,215,877円
受取配当金	88,239,657
受取利息	8,785
その他収益金	1
支払利息	△ 32,566
(B) 有価証券売買損益	5,065,813,680
売買益	5,304,424,772
売買損	△ 238,611,092
(C) 先物取引等損益	241,652,934
取引益	259,248,395
取引損	△ 17,595,461
(D) その他費用	△ 9,776,200
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	5,385,906,291
(F) 前期繰越損益金	△ 5,816,414,910
(G) 解約差損益金	336,805,949
(H) 追加信託差損益金	△ 12,282,674
(I) 合計（E＋F＋G＋H）	△ 105,985,344
次期繰越損益金（I）	△ 105,985,344

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。